【京都民医連あすかい病院 ジェンダーフレンドリー宣言】

私たちの病院は人権を尊重し、共同の営みとしての医療と介護・福祉をすすめ、人々のいのちと健康を守ります。

- ジェンダーや性的指向／性自認(SOGI)に関わらず、患者・利用者・家族が安心してかけられる差別のない病院を目指します。
- ジェンダーや性的指向／性自認(SOGI)の特徴を踏まえ、時代に合った最善の医療介護が提供できるように改善に努めます。
- ジェンダーや性的指向／性自認(SOGI)の多様性を尊重できる職員を育成します。

以上の目標を達成するため、患者・利用者・家族、地域の人々とともに成長できるよう、努力を止めず進むことを宣言します。

京都民医連あすかい病院は、ジェンダーフレンドリー病院を宣言しています

日本国憲法第 11 条では、「基本的人権の尊重」、第 13 条では「個人の尊厳」の尊重をかけています。また、当院は「民医連(全日本民医連民主医療機関連合会)」に加盟し、憲法の理念を高く掲げ、無差別平等の医療と福祉の実現を目指しています。

当院理念に基づく基本指針には、「誰もが平等な医療が受けられる」こと、「医療や社会保障の充実に反し生命と健康を破壊する戦争政策に反対し、平和憲法を守る活動に取り組む」こととしています。

当院は日本 HPH ネットワークに加盟し、ヘルスプロモーション活動の大切な役割として健康格差の克服に取り組むこと重視しています。

その一環として、私たちは 2025 年にジェンダーフレンドリー病院宣言を発出しました。

当院を利用するすべての方々の、多様なジェンダーや性的指向/性自認(SOGI)を尊重します。そして、その権利が保障されるよう日々研鑽を積んでまいります。

ジェンダーの問題でお困りのことがあればご相談ください。誠意をもって対応に努めてまいります。また、職員の対応、掲示物、書類、各種取扱いについてのご意見や質問を歓迎します。

当院の取り組み

●院内の設備について

南館1階と地下の多目的トイレは「だれでもトイレ」という名前に変更しました。どなたでもご利用ください。

●掲示物について

病院受付や各部署に、レインボーフラッグを設置しています。

●職員の研鑽・対応について

院内に「ジェンダーフレンドリー病院推進チーム」が設置され、定期的に多職種が集まり、性の多様性に関する学習と部内ニュースの発行、院内ラウンドを行っています。今後、スタッフへレインボーシールやレインボーバッジを配布し、名札につけるようにしています。

●診察時の呼称について

診察申込書に希望する呼称をご記入ください。診察時や検査時にその名前でお呼びできるよう、徹底に努めます。

●患者さんの病状説明・治療方針などの意思決定に関わることについて

当院では家族等に同姓等のパートナーも含まれると考え、各書類の同意欄にも「夫・妻・パートナー」と表記しています。患者さんとの関係が同性パートナーであることが確認(パートナーシップ証明書・同居を確認できる住民票等)できれば、同意書等に患者さんと連名でサインすることができ、病状の説明等を受けることができます。

他にも「このようにしてほしい」という要望があればスタッフにお声かけくださるか、ご意見箱に投書して下さい。病院の中で実現可能か検討させていただきます。